

わかるぞ！できるぞ！算数

1 単元 3年 三角形

2 本時の目標

- 色紙で二等辺三角形や正三角形をつくったり、円を使って二等辺三角形をかいたりすることができる。

3 準備物 (教師) パソコン、デジタルテレビ、実物投影機 教材 (パワーポイント) プリント (2種類)

(児童) 色紙、はさみ

4 過程

(1) 二等辺三角形、正三角形の意味理解を深める。

① 二等辺三角形、正三角形の弁別をする。(プリント)

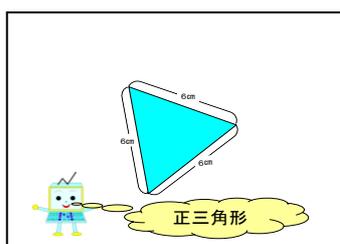
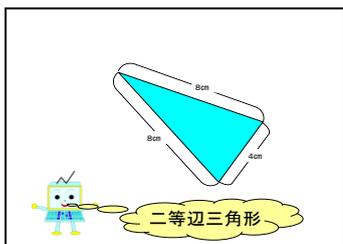
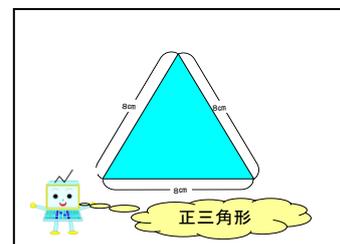
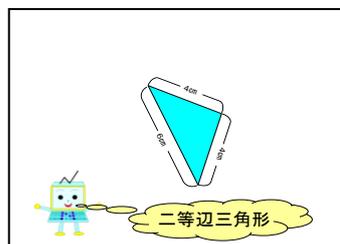
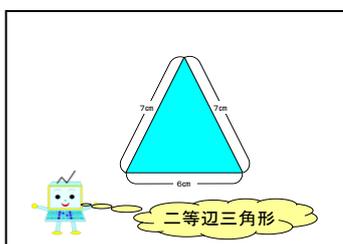
※ 5分間ぐらいで解答させる。

※ 辺の長さを記入していない三角形の弁別のしかたを観察する。

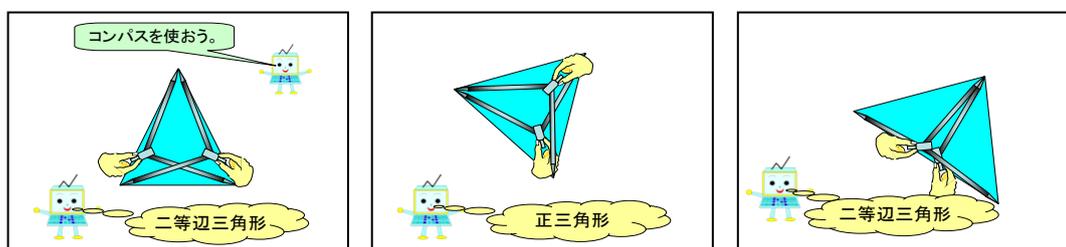
② デジタルテレビを使って、練習問題の解答をする。

※ 児童の実態に合わせ、①のプリント学習を省いてもよい。

- スライド2から6までは、辺の長さを記入しているので、すぐに判断させる。



- スライド7から9は、辺の長さを記入していないので、まず予想を立てさせることが大切である。その後、コンパスを使って辺の長さを測り取る場面を提示した後、判断させるようにする。



※ プリントの練習問題を与えている場合は、テレビの画面に合わせて実際にコンパスを使わせると、より一層理解が深まる。

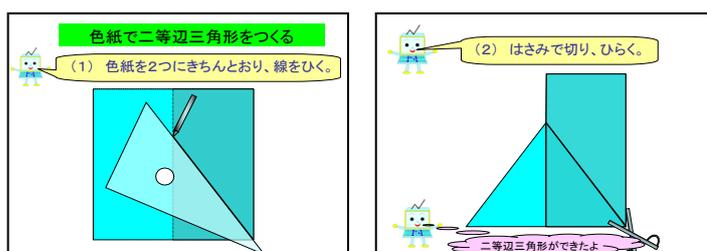
- (2) 学習課題を知る。

二等辺三角形や正三角形をつくらう。

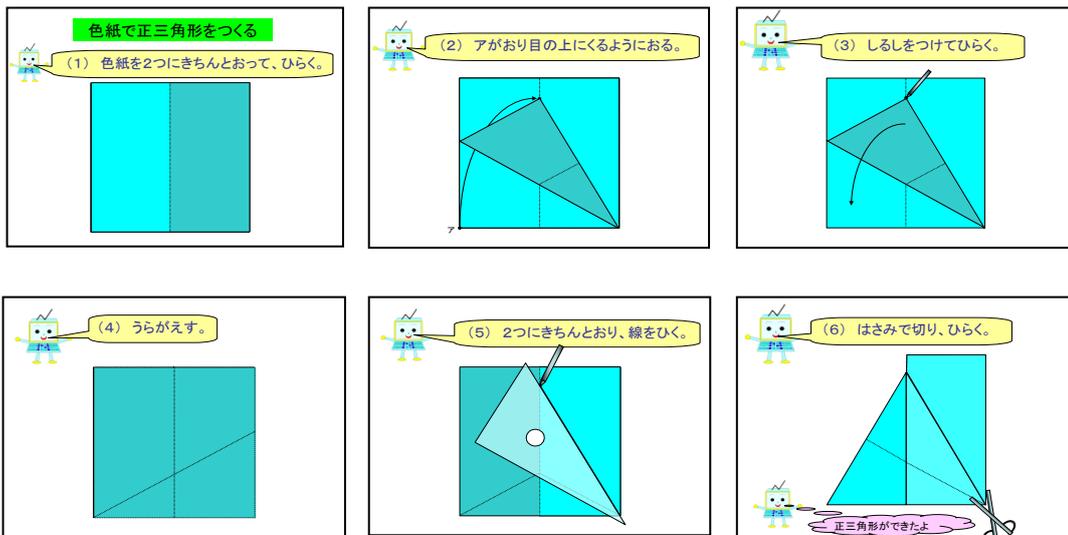
- (3) 色紙で二等辺三角形や正三角形をつくる。

T 色紙を使って、二等辺三角形や正三角形をつくりましょう。

- スライドにしたがって、色紙で二等辺三角形をつくらせる。
- 2つの辺の長さが等しくなっているのを確認してからノートに貼るよう指示する。

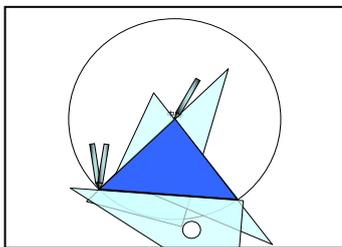


- スライドにしたがって、色紙で正三角形をつくらせる。
- 作業学習が苦手な児童がいるので、児童の進み具合を確認しながらスライドショーを展開する。
- 3つの辺の長さが等しくなっているのを確認してからノートに貼るよう指示する。



(4) 円と半径を使って、二等辺三角形をかく。

- T 円と半径を使って、いろいろな二等辺三角形をかきましょう。
- 児童がかいた二等辺三角形を、実物投影機を使って紹介する。
 - 正三角形をかいた児童がいれば、やりかたを説明させてもよい。



(5) 本時のまとめをする。

- T 学習した感想をノートにかきましょう。